

集団救急模擬訓練を実施しました



市民病院で1月15日、大規模災害を想定した集団救急模擬訓練が行われ、約200人の職員らが参加しました。

訓練は、東海地震が発生、西濃地域でも震度5強の揺れがあり、多くの家屋が倒壊し、多数の負傷者が出たという想定。完成したばかりの救命救急センターや、病院の待合ホールなどを会場に、治療の優先順位を判断するトリアージや情報伝達の実践訓練を行いました。

救急車両や一般車両で次々と患者が搬送されてくると、医師や看護師が、重症、中等症、軽症の3分類に判断。無線で空き病棟の確認連絡をするなど、本番さながらの状況で、職員らは真剣に取り組みました。